



さかきっ子

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい

『さかきっ子』の育成」

《育てたい力》

考える力

協働する力

がんばり抜く力

県人権子ども集会 活動報告

10月4日(土)午後、県立劇場コンサートホールで「県人権子ども集会」が行われました。その体験・活動報告の小学校の代表として、南関二小全校児童が発表しました。「3つのたからもの」として、①群読している「ひとつのことば」、②縦割り班活動など「学年をこえた強いきずな」、③20年以上歌いつないでいる「ハートフラワー」の歌を発表と動画と歌声で来場していたたくさんの人々に伝えることができました。始まる前は、緊張していた児童ですが、本番では堂々とした様子で大きな声で発表ができていました。6年生の感想を紹介します。

○本番までに、たくさんみんなで練習しました。ビデオ撮影では、なんどもやり直しをしました。リハーサルの時「ひとつのことば」の詩を言うのがみんなで合うか心配でした。だけど合ったので安心しました。本番が近づいてくるとだんだん緊張してきました。榎原先生から「6年生は先生たちの代わり」と言われますます緊張したのと同時にがんばろうという気持ちが強くなりました。本番では心をつにして「ひとつのことば」を言ったり、ハートフラワーを歌えました。本番をやりきって、たくさんの先生からほめ言葉をもらえてうれしかったです。みんなで心をつにして頑張れて良かったです。(6年坂田愛夢さん)

○人権子ども集会を通して心に残ったことが2つあります。1つ目は発表です。発表する場所はとても大きくて、人もたくさんいてびっくりしました。私はこんな大きな場所で発表するんだなと改めて思いました。とても緊張していたけれど、最初から最後まで気を抜かず自分のセリフなどもとても大きな声で発表できたのでうれしかったです。2つ目はハートフラワーです。クラス全体で集まって歌詞に動きをあわせて練習しました。本番は全体で力をあわせて大きな声で歌うことができたので良かったです。これからもハートフラワーという歌を守っていきます。(6年雪野杏さん)



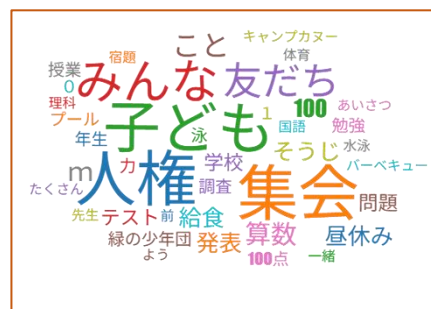
7年ぶりの参集型の集会の発表校として記録に残るものでした。素晴らしい発表は聴いていた人々の記憶に残るものになるでしょう。子どもたちにとって、この経験は今後に生かされると思います。保護者の皆様にも発表の様子をお見せできると思います。しばらくお待ちください。

前期終業式

101日の学校生活でした

10月10日をもって前期が終わりました。101日(1年生は100日)の学校生活でした。全員が今日の日を迎えることができ安心しました。どの児童も、成長してきています。8月から10月の「よかったと感じたこと」では全体では、10月4日の県人権子ども集会の発表を答えている児童が多かったです。1～3年は、そうじができるようになった・給食を全部食べることができるようになった・発表できた・国語や算数などの教科の内容を答えています。いろいろなことができるようになってうれしい気持ちになっているようです。4～6年生は、水泳で100m泳いだ・友達にいいところを見つけてもらった・6年生は緑の少年団の活動を答えている人も多かったです。前期後半は、前半に比べて、よかったと感じた事柄が増えました。学びや体験を目的をもってやっているから喜びや達成感が感じ取れるものです。後期も楽しみにしています。たくさんの良かったに出会えることでしょう。

前期は、1日も休まずに学校で生活することができた児童が9名いました。いろいろな事情で学校に行けないこともありますので、本人の努力と家庭の協力、運もよかったといえると思います。後期も全児童が健康で学校生活を送ることができるよう、しっかりと見守っていきたいと思います。



全校児童の「よかったこと」のワードクラウドです。いろんな「よかった」に出会っています